

産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年9月10日（火）午後2時45分
- 2 閉会日時 令和6年9月10日（火）午後3時28分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
7 番 保田 守君 9 番 治徳 義明君 11 番 金谷 文則君
13 番 福木 京子君 14 番 佐藤 武文君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
な し
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 原田 光治君 主 幹 青木 智彦君
- 8 協議事項 1) 立地適正化計画、新拠点整備事業等に関する前提条件の確認と、一般質問で答弁された内容との差違の確認と対応について

午後2時45分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

本日の協議事項でございますが、昨日お話を申し上げました立地適正化計画、新拠点整備事業等に関する前提条件の確認をしておこうということでございます。というのが、一般質問で市長がこの間答弁されましたことが、産業建設常任委員会ですずっとやっておりました内容と正反対の話が出てきたというのを皆さん御承知かと思います。

それについて確認をしておかないとこれからの予算の問題とか、それから特に今回請願が出されておりますので、請願審査についても大きな問題が生じるんじゃないかなということで、皆さんの共通認識とこれからそれを確認するためにはどうしたらいいかということを皆さんと協議をして、今度の産業建設常任委員会の17日にそれをまずやって、それから付託されました議案についてもしっかり審査をしていきたいというふうに思っておりますので、それにつままして皆さんの御意見をお伺いしたいなと思います。

この間、佐藤武文議員の一般質問の答弁に、今まで産業建設常任委員会の中で立地適正化計画や新拠点整備事業において取り沙汰されております企業の話について、執行部の説明では民民のことなので市のほうとしては答えようがなく関知はしていないと、行政上のアドバイス程度はしておるということでございました。それから、うわさされている企業名等を出すこともはばかれておりましたという経緯がございます。それで、この委員会ではそのようにやってきたんですが、さきの佐藤武文議員の一般質問の答弁で、友實市長のほうから私がコストコホールセールと帝人ナカシマメディカルにトップセールスをしてきたものだという答弁を唐突にされました。このことについて、共通認識をしておられることを確認をしてから進めたいと思うのですが、皆さん御承知でございましょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 前回、私の一般質問に対して突然市長のほうからコストコホールセールと帝人ナカシマメディカルを誘致するようにトップセールスを行ったというような発言があったんです。そのことについて、今まで当委員会においては一切聞かされていなかったこと。

また、まちづくり調査特別委員会の中においても、そのような話については一切報告はなかった。我々が聞かされておった内容は、大型商業施設という名前の下において大型商業施設を誘致するという話しか聞かされてなかった。

その中で、どういう意図で市長がそのような発言をされたかということについては定かではありませんけど、その内容について当委員会としてきちっと整理をし、市長の真意というものを確認をしなければ、今まで我々が当委員会の中で審査、あるいはいろいろ議論してきたことの内容が全く、今言う真実性に欠けたような内容になってしまうことになりかねないことが私はあると思うんです。そういうことで、確認を一度当委員会の中でやったほうが私はいいんじ

やないかというふうに思いますけど、いかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） どうですか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 全てを覚えているわけではないですけども、産業建設常任委員会の中でも委員の方から、企業名が答えられないということがあったときに、答えられるようになったら答えてくださいねというふうな形を言われてたのも事実もですし、今回一般質問でお答えになることというのはいろんな、ざわつくので、いかがなものかなという部分もありますけど、私は新拠点をスムーズに進めていただきたいというのがあるので、今佐藤委員が言われたみたいに疑問視がある委員がたくさんいらっしゃるんでしょから、市長に真意を確認をするということでもいいんだろと思うんですけど。

○委員長（金谷文則君） 保田委員はいかがでしょう。

○委員（保田 守君） 私は、一般的うわさでコストコとナカシマが来るんだろなというふうには、説明は受けてないけど感じてはいました。説明は受けてないですよ。

ただ、市長を擁護するわけじゃないけど、トップの人には話せん事情があって、公に発表するときにはきちっと発表するんだろなと、そういうふうに思って状況を見とったという感じですけど、今回の佐藤委員の一般質問は聞きようるときにびっくりしたけど。一般質問という形で発表するよりは、別の形で発表してほしかったというのが。そしたら、みんなこれからまたそっちへ向けていこうかなという気にもなるんだけど、いろんな問題を、ここで起きたことやこうは解決していかんやあおえんということで、現状がどうなんかなと。

それから、私自身今の問題を皆さんが感じておるほど特別それが重要な問題になるんかということがよう分かってない部分があるんで、今日参加してみてお話を聞かんにゃあおえんなんて思っ

て。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 私も委員長が言われるように、公共ゾーンは議会でやると、あとはもう民民でやるという説明が最初からされていましたよね。だから、産業建設常任委員会でもまちづくり調査特別委員会でも企業名を一切出さなかったと、うわさだけが流れて。

だけど、筋を通さないけんと思うんです。議会は組織ですから、一番担当のところにきちっと説明をして、進めるんだったらそういうふうにしないと、だから慎重に市長にはしてもらわないといけんと思います。突発的にそういう答弁をされたのはちょっとおかしいんじゃないかなと、だからそういう意味では筋を通した議事進行、議会の進め方、それはやっていただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 私が今、皆さんとまず共有していかなきゃいかんというのは、私たちの委員会、これは正規に進めてるやつです。うわさとかなんとかというものを、それから私はこう思っ

ず確認しとかなきゃいけないのは、さきの一般質問の中で、友實市長が所管である産業建設常任委員会で一切そのことについて、例えば今の新拠点整備の中に来る業者の名前については何も出てきていなくて、民民でやることだからここでは関知しないんだということだったものが、佐藤委員の一般質問ところで市長のほうからコストコとそれからナカシマという名前が出ただけでなくて、市長がトップセールスとして私がやってきたっていう発言をされたんです。それを記憶にないっておっしゃるのか、皆さん聞いておられたのか、この確認をしないかという先に進まんと思うんです。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどの話の中で、市長がトップセールスによって企業を誘致したということが私は疑問に思ったということであって、トップセールスをしたんであったんなら市長として執行部として、我々に説明責任があったと思うんです。先ほどの、福木副委員長のじゃないですけど、民民でこの事業を進めておるんでそのことについては発表できないということで、我々は内容については一切聞かされていなかった。

ところが、前回の一般質問の中で、トップセールスによって誘致したんだというような話をされたんで、いやそれだったら今までの内容と話が違ってくるんで、その辺の確認をさせていただきたいということと、それから一般質問の晩に県のOBの方から電話がかかってまいりまして、その中で都市計画区域の手続が完了していないにもかかわらず企業名を発表したことに関して、私のほうに問合せがあったんですけど、そのことについては私が発表したんじゃないんで私には分かりませんということで、都市計画区域の手続が完了していないにもかかわらず発表したということに関して、県のほうの手続がぎくしゃくするんじゃないかということの心配をしておられた。

それから、もう一方から電話がかかってきた内容については、これは恐らく治徳委員だろうと思うんですけど、山陽団地のために立地適正化計画をやっておるといような、山陽団地のために立地適正化計画は私はされてないと思うんです。そのような発言をしたという真意について私に問われましたけど、そのことについて私が発言したんじゃないんで、私がお答えすることはできませんというようにことの中で、市民の方からは議会は今何をしとんならということで、我々議員に対して非常に今失望感といいますか、信頼性を喪失しておるといような状況を私は市民の方から聞かされておるといような状況です。

○委員長（金谷文則君） そうなんです。私がこの委員会で問題だなっていうのは、個々の業者がどこであれ、これはいずれ誰かに話をしたり、うわさはあったんですけど、それを市長の口から私がトップセールスでやってきたって発言されたことが問題で、市長がトップセールスということは、要するに市としてやってきているということを公言されてしまったわけなんです。

今まで、私たちのところでは、市はそれには関わっていないという説明の下にいろんなものが前に進んで、皆さんも立地適正化計画もいいじゃないかやりましょうという話で、本会議の中でも皆さんがオーケーをしたから今のように進んできておるわけで、だから我々ももう一遍冷静に考えたときに、コストコが来ようがナカシマが来ようが関係ないんです。それは、市のほうが主として議会の中で決めて、みんなでやりましょうと言うたら歓迎してあげりゃあいい話だと思うんです。

だけど、冷静に考えないと、佐藤委員が一般質問の答弁を受けた日からもうかなりの日にちがたっているのに、産業建設常任委員会のほうへそのことについての報告はまだ何もありません。本来なら、この委員会へ一般質問で佐藤委員のところで言ってしまったけど、後先になるけど私がこうやって進めておりましたということを当然言うてきてくださらないと、私たちは知らないことになっておるんです、まだ。公の委員会では、知らないんです。一般質問では言われたかもしれませんが、そこを十分認識してやらないといけないんです。

だけど、市長があそこでああいうふうにおっしゃったということは、前々から市が絡んでやってたということをはっきり言われたことだと思うんです。そうすると、これはまた問題で、一人の人が一企業とダイレクトに話をして、公のお金を使ってエリア指定をした中に企業を引っ張ってきて、それで今大きな問題になつてくることは、今回予算をしていくというのもその業者から今度は土地を買って、道をつけていくというような予算が今回出てきているので、そうすると本来なら公の施設をやる場合だったら、ここへ工業用地のエリアを作りました、そこに参加される方はいらっしゃいませんかという公募をして、その中で今度はコンペか何かをした中で、例えば決めていくとかというような形でやらないと公平性を全く担保できないんです。

それを今、市長は何を思ったか、私とその1社を連れてきて、そこで何十億もお金かけてる中のここを使わせるというようなことを言ってしまったことになってるんです。となると、私たちももう一遍、委員会ですべて担当者も民間のことですからって言ってこられた、本当にそういうことでよかったのかどうかというのを確認していかなきゃいけないと思うんです。

いや、実は担当者のほうも知らなかったと、市長がしとられたのを知らなかったと言われるかもしれんし、だから民民でやっとなるからうちは関係ねえよと言われるんかもしれんし、もしかしたら知ったけど、知らんことではこうやというふうな話があったのかもしれないし、そんなことがもしあったら、私たちは議会という公で市民に対して公平にちゃんとしなきゃいけないものを、内緒で何十億というお金をその1社のために使っていく、言い方が悪いけどそういうふうなことへの片棒を担いでしまつてることになってしまふんで、冷静にちゃんとそこで元へ戻って、それじゃあ納得がいったらどんどん今のとおりに進めていきゃあいいし、せっかくコストコやらそれからナカシマメディカルが来てくれると言うんなら、みんなが喜んで迎え入れるような体制をしてあげないといけないのと、もう一つはいろんな申請の事業、申請をしていって県や国やらそういうところを今、巻き込んでしまつてものが進んでいってる、も

う取り返しのつかんことになる。もし、これが正規にきちっとした道を踏んでないということになった場合には、国も県も赤磐市に対してどういう印象を持つだろうかと思ったときには、もう怖いです。そこら辺は、我々この委員会の責任として、きちんとかうだったというのを確認をして市民に知らせるとか、それから今度の予算常任委員会が20日にありますんで、予算審査の中でも、本当のことなりそれなりにあったことを報告してあげないと判断がつかんと思うんです。民民でやっと思ったんだったら、たまたま市長がそれは違っと思った僕がトップセールスって言うたのは夢じゃって、私がトップセールスしたんじゃのうて、何か思い違いだったんだと言うんだったらそれはそれでしょうがないんですけど、そうであってほしいと思いますけど、そういうようなところをはっきりしときたいんです、私としても。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） それからもう一点、私は一般質問の中でも指摘をさせていただいておりますけど、開発業者と赤磐市とが何かの契約を締結しておると思うんです。この契約の締結について、確認をしておるのかということを私は市民の方から問われました。そのことについて、私は一切知りませんので、分からんということ言うたら怒って帰られたんですけど、そういうことも委員会の中で、私は確認できる資料については確認をしておったほうがいいんじゃないかと思うんです。そういうことも、調査の対象にぜひしていただきたいということを要望させていただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 佐藤委員のほうが先ほど私の名前を出されて、山陽団地のために新拠点を作るんだ、これはちょっと意味が分からなかったんですけど、どういう意味なんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 多分それは、この間の一般質問の中で、やり取りがあった内容でそういうふうに聞こえるようなところが確かにあったと思うんです。

○委員（治徳義明君） いやいや、市長は全くしゃべってないですよ。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員が、山陽団地のために立地適正化計画を推進してもらおうてありがたいみたいな話をされたと思うんです。

○委員（治徳義明君） 要は、市場原理が働いてないから何ぼやっても、ハード面の新拠点ができれば隣接している山陽団地の価値は上がるんで、その何が悪いんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） いやいや、その悪いとか私に聞かれても。

○委員（治徳義明君） 新拠点は、赤磐市のためにやっとして、山陽団地も赤磐市の一つなので、全く何か理解ができなかった。

○委員長（金谷文則君） それは、ちょっと置いといてもらって……。

○委員（佐藤武文君） 議事録をよう読んでもらって。

○委員長（金谷文則君） 問題は、今日は時間がそんなにあるわけでないので、どういうふうな対応をしていくかということをしていかなきゃいけないんで、市長個人がやとったっていうことになって、結局やり方の問題だと思うんだけど、特定の業者をそこにに入れるためにこの事業を計画したみたいなことが最初にあったんですみたいことになったらえらいことになるんで、時系列的に確認をしとかなきゃいけないと思うんです。

この間から説明を受けとるのは、高橋前部長が担当部長だって、もう転勤されとるんで高橋前部長までここへちょっと出てきてもらって本当にそうだったのかということを実は聞きたいんですけど、そういうわけにもいかんのだろと思うんですけど、今の担当者、それから当時のいきさつを2年か3年前に遡ったところで、事業をここの産業建設常任委員会のほうへ報告をされてきたときに説明をされた方には、再度本当にそうだったんですねという確認が僕は必要なんじゃないかなと思うんですが、どんなでしょうね、皆さん。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、高橋前部長にもぜひ来ていただいて説明をしていただくのが筋だというふうに私は思いますし、また確認をするためには関係者に一々確認をさせていただいて、きちっとしたことを委員会としても処理するためには、適正なやり方を私はしていくべきではないかというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） どうですか。

○委員（保田 守君） 今回の新事業について、高橋前部長とよう話をしたんです。私なりに賛成して進めよう、いろんなことを言うたら、今度は保田委員、こんないいことがあるんですよと、あの人がいろいろなことも教えてくれた。ただ、一つ一つ改めていくというのは必要だと思う。前提として、この事業が正しい方向に行くように進めるためということで、混ぜるだけのことはしないから。

○委員長（金谷文則君） そう、それはいけんよ。だから今の事業がいいとか悪いとかという問題じゃなくって、結局今、重大発言を市長が、要するに私が一人でトップセールスに行って、その業者に話をして、ここに来させるようにしたんじゃないというようなニュアンスの答弁をされとるから、それは違って、あの事業はエリアを指定した中を活性化させていくために、それから今の農地もそこへ転用できて、住宅用地ができたり、工業用地ができたりしてここを活性化させていくんじゃ、その事業に皆さん賛成してくださいというてやってきた事業なわけです。そうでしょう、みんな多分。

その中で、おっとどっこいこの間の発言だったら、私個人がその企業に話をしてここへ来てくれあそこへ来てくれ、それからもう一つ、ベストコーポレーションっていうのがもう既に聞いてみるといろんなところを渡り歩いて土地を押さえるところがあったり、それから今度の道もベストコーポレーションかな、そういうところが民間から買い上げた土地を市が今度は買い上

げるというような話の予算の予定になつとるということになったら、これは一企業のために市のお金とかみんなが協力していくことになっちゃあいけないので、本当にそうだったのかどうかだけはしていかないと、公平に物を進めていかんといけんなってしまうんです。だから……。

○委員（保田 守君） 大きなお金が動くから面倒くさくても一つずつきちっとしていかなと、不正が起きるようなことに……。

○委員長（金谷文則君） なったら困るから。

○委員（保田 守君） 全国的にはようあることだから。

○委員長（金谷文則君） 私たちの責任があるから。

○委員（保田 守君） いいものをつくるためにきちっとしようということだったら、もうそれはせにゃあおえんわ。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 先ほど、冒頭に言いましたようにトップセールス、それまでに議事録が出るんかどうか知りませんけども、僕らも耳があまりよくないので、ナカシマの名前しか聞き取れなかったところがあったんですが、議事録をしっかりと見ていただいて、今あったように僕もトップセールスで企業誘致というたら働きかけていかないと来ませんよ、誰も。そういう流れの中で、何か疑問視を持たれている委員もたくさんいらっしゃるんで、しっかり産業建設常任委員会の中で聞いていけばいいことだろうと思います。それと、発表については僕も疑問視はあります。なんで一般質問で答えられたのかと。それで、ごめんなさい、うわさでは金谷委員長にも打診をされたというふうに聞いたんですけど、その辺はどんなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 打診は何もないんですよ。私のところに、これを言っていいいのかどうか分かりませんが言います、そこまで言うたら。私のところへ企業の名前を言うから内緒で皆さんに聞いてもらってそれで内緒にしといてもらって、本会議なりのところではこれに賛成してもらいたいという意図があってお話をしたいんだと、こう言うてこられたんです。私は、それは私個人でお受けするわけにいきませんということでお話をして、正副委員長それから議会事務局長、事務局の担当者、それが寄るところでそのお話はしておりますから、変な形で内緒の話で公のものをするという事は私は一切できませんから、それは違いますよということでお断りはしました。

そして多分、破れかぶれになってと言うたら失礼だけど、どこかで言っとかないといけない、ちょうど佐藤委員のあれに合わせて申し上げられたのかなというふうに、これは推測の話ですから分かりません。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

先ほどの委員長の発言、私は言語道断で、そういうふうな調整の仕方ということが、私も行政経験が何年かありますが、私もそういうふうな経験をやったことは一切ないですね。諸先

輩からそういうふうなことを聞かされたこともないし、こんなやり方というのは全く議会軽視も甚だしい、ごだなやり方ですよ、そりゃあ。これを言うてきたということは、どなたが言われたかそりゃあ知りませんが、言うてこられた方には責任を取っていただかなければ駄目ですよ、こんなことは。

○委員長（金谷文則君） 今、くしくも治徳委員からそういうことがあったので、私も言うてしまいましたけど。

○委員（佐藤武文君） 腹が立つ。

○委員長（金谷文則君） 私もとんでもない話だと思っております。だけど、それはそれとして事実確認をしとかなないと……。

○委員（佐藤武文君） 委員会是要らんが、ほんなら。

○委員長（金谷文則君） そうなんですよ。委員会は要らないというふうになっているとしか思えないような話だったわけです。これは事務局長、相談にあった話は間違いありませんよね。

○議会事務局長（原田光治君） はい。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） そういう話があって、それは名前をここで聞くわけにはいかんと、そんなもうびっくりするが。でも、担当がそういうことを言うてくるということは、想像ではそのあたりも知っとるということでしょう。そういうふうに想像するんですけど、一切そういうことはいけません言うて、その話の中で言いましたよね。

○委員長（金谷文則君） すみません、そういうことで皆さんには黙っておりましたが、お断りをしたものですから御報告しておりませんでした。大変申し訳ないです。

というふうなこともあるもんですから、何か変な言い方かもしれませんが、隠しとかなきゃいけないことがひょっとしたらあるじゃないかということを疑われてもしょうがないようなことになってしまうので、私たちが産業建設常任委員会としてちゃんと審査をしてきとるわけですから、最初に言われた民間でやってるから委員会ではその話はしないんだよって言ったのをそうですねっていう確認を、その当時の担当者それから市長にも確認をしなきゃいけないんですけど、市長とか皆さんがおられるところでそれぞれに聞くと周りを見てなかなか答えられなかったりということもあろうとは思うので、できたらみんなに聞くわけにいかないから担当部長、それぞれ産業建設の部長あたりぐらいにもう一遍確認をすると。それから、前田副市長が辞めとるけど、あの人も当初やとったわけですからそこら辺にも来てもらって、百条委員会とかそういうのじゃないから個人にお任せをしないといかんけど、本当はどうだったのということだけは聞いて、それをベースに産業建設常任委員会の中で判断をして、その判断した結果を予算常任委員会のほうに報告をするということが、20日までに我々がやらにゃあいけんことじゃあないのかなというふうに思っているんです。ばたばたとる形にはなりますけど、そ

れで今日に臨時でも委員会をしとかなないと大変なことになると思っておるんです。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） 前の副市長は辞められてるし、ここへ来られるのは微妙なことになるから、ここは考えないと。

○委員長（金谷文則君） 高橋前部長にも併せて打診をしてみます。

○副委員長（福木京子君） いや、高橋前部長じゃなくて前副市長の話。

○委員長（金谷文則君） だから、前田副市長にしてもそうでしょう、当時おって話をしたんじゃから責任を取ってもらわんとねえ、みんな。

○委員（保田 守君） 高橋前部長は向こうで仕事をされとるわけじゃから、それはもし休日でこっちへ顔を出すというたら我々は合わせてきます。

○委員長（金谷文則君） だから、取りあえず連絡、前田前副市長、高橋前建設事業部長それから今の岡本建設事業部参与、それから今の新しい建設事業部長、それからあとは産業振興部の是松部長、その5人ぐらいは本当にどうだったっていうことをお聞きしたらどうですかね。それで、これは百条の証人喚問とかじゃないので、どうですかとざっくばらんにお聞きをしていきたいなど。

それで、それは17日にやっておかないと今度20日が予算常任委員会だったよね。その1番のところに申入れをして、この問題についてこういう議論を産業建設常任委員会でやりましたということを報告させてもらいたいと思うんですけど、どうでしょう。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今の話で言うたら、17日の産業建設常任委員会までにやるということですか。

○委員長（金谷文則君） 産業建設常任委員会の日に、こう言っちゃあ悪いですけど、産業建設常任委員会に付託されているのはそんなに多くないですよ。だから、午前中ぐらいには一遍僕らが確認しとかなきゃいけないことを出てこれる人は個々に部長連中にお話を聞いて、それから昼から今度は市長にももう一遍聞かなきゃいかんと思うんで、市長にも話を聞いて、それから付託されとる議案審査をしていくというような形で1日で何とかできんかなとは思ってますけど。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） しつこいようですが、先ほど委員長が言われた根回しをされたという、どなたが言われたんか分かりませんが、その誰が言うて誰の指示に基づいてそういう行為をされたかということも私は大変な問題だと思っておりますので、これもきちっとしてください。

○委員長（金谷文則君） 分かりました。

どうですか、だから流れとしてはそういう形で御賛同はいただけますか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私は、産業建設常任委員会の中で市長も来られるし、部長も来られるのでしっかり疑問を持たれている委員が質問すればいいんだろうと思いますけども、そういった前田副市長とか、そういった方にお聞きするというのが皆さんの賛成多数であれば仕方がない。個人的にはそこまでしなくてもいいんじゃないかなとは思っているんですけど。聞いた後、本当に何かあって問題じゃというのであればと思うんですけど。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 決して事業の足を引っ張ったり、事業の推進に一切反対はしておりませんので、そこだけ間違わないように私はしていただきたいと思うんです。私、この一般質問の後に市民の方から佐藤、この事業に反対をおめえはしとるんじゃないかなというような質問をされたんです。私は、一切反対はしとりやあしませんよと、何をもってそういうことと言われるんですということで、議論を市民の方ともさせていただいたことがあるんです。一般質問で私は、一切事業に対しては反対しておりませんし、事業推進に関して一切反対しておりません。どちらかといえばウエルカム、来ていただきたいほうの一人です。これははっきり申し上げておきます。

○委員長（金谷文則君） 分かりました。

これも多分、私が思うのに産業建設常任委員会で最初は民民だからと言ったのが、市長が突然と私がトップセールスをしてという話になったときに本当はどうだったんとかというような話を部長に向けたとき、全員がおるところでというたらなかなか話しづらいんじゃないかなって思うんです。だから、一人一人がただの20分か30分でも来てもらって、あまりたくさんのかを言うことはないと思うんです。民民だったのが何で市長がこういうふうになったのか、それを御存じですかとか、そういうことだと思うんです。それから、企業がじゃあいつ頃からそういうことが分かかって、うちに黙っとったわけですから、そういうことを確認することだと思うんです。

だから、それだけはやって、もし結果として誰が考えてもおかしいとかというような問題になったら、これはまたうちから百条委員会でも設置してくださいというような話になろうかと思うんで、それはまたこの委員会の皆さんと結果によって相談をするべきだと思うんです。まずは、本当にそうだったのか、どうしてそうなったのかということぐらいは私たちの委員会の責任として、早くまとめて報告をしなきゃいけない。

○委員（保田 守君） 確認して、とにかく私はすっきりした形で……。

○委員長（金谷文則君） そうですね。

○委員（保田 守君） 前へ行きたいです、やっぱり。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 市長も政治家ですので、トップセールスという意味合いの幅が広いんだと思うんですけども、先ほども申しましたように、皆さんがそういうふうな形ですっきりして佐藤委員も保田委員も事業を推進したいんだと、その前提の中できちっとすっきりしたいということであれば、私もそれは仕方ないと思います。

○委員長（金谷文則君） はい、分かりました。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福木副委員長。

○副委員長（福木京子君） みんなと同じです。それで、ひとつ言ったのが前田前副市長が、何か月か後のいろんなうわさもあるので、ちょっと配慮が要るんだどんなんか。多数で呼んだほうがいいんだったらそりゃあいいけど、ちょっとそこは気になります。

○委員長（金谷文則君） 取りあえず、皆さんの御意見を聞いた中で、来れる人は来ていただいて、責任を持って仕事をしておられた人たちですから、来てくださるという方には来てもらって話を聞きましょう。そういうことで進めさせてください。

それで、そういうことになれば、来れる来れんは別として今の5人に対して、委員会のほうから議長のほうへ、委員会へ参考人として来てくださいというお願いをしなきゃいけないので、そういうお願いを議長のほうに出させてもらおうということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ほんならそういうことで、それからあとそこでどういうことを聞かということについては、一応今のはっきりしないことについて幾つか私が参考というか、たたきを作って皆さんのほうにお出ししようかと思います。それで、それに皆さんが足りないものとかこれはいいわとかというようなことがあったら、それを17日までに調整をしてやっていただけたらと思うんですけど。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） さっきも言いましたように、先ほど佐藤委員の一般質問の文言でという話なので、それまでに議事録って出るんですかね。その確認だけ。

○委員長（金谷文則君） その部分があったらいいんでしょ、その部分だけ。事務局いかがでしょうか。

原田議会事務局長。

○議会事務局長（原田光治君） 粗原稿だと二日ぐらいすれば出るということで聞いております。

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、それはいただけますか。

○議会事務局長（原田光治君） はい。

○委員長（金谷文則君） いただけるということなので皆さんもそれを再度確認をしていただいて、だけど細かい前後の言葉がどうかは分らんけども企業名が出たということと、トップセールスをしたという事実だけはどなたの耳の中にも残っておると思うんで、まだこの産業建設常任委員会の中にはその話がないということも皆さん承知おきください。これはそうですよね、よろしいですね。

取り留めのない委員会になってしまいましたけど、とにかくちゃんとしたことを20日の予算常任委員会までにはある程度出さなきゃいけないと思いますので、皆さん御苦勞をかけますけど御協力のほどをお願いしたいと思います。

それでは、どうも皆さんありがとうございました。それじゃあ、そういうことで前へ進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

これで閉会といたします。

午後 3 時28分 閉会